（様式 17）

研究番号	第 26－57

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肺の手術後に生じた気管・気管支の瘻孔（穴）の治療と経過に関する研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 小濱拓也（呼吸器センター外科・医長）

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2026年10月19日～2028年3月31日

目的：肺の手術後に気管や気管支に穴（瘻孔）が生じた患者さんについて、診断方法、治療内容、その後の経過を明らかにすることを目的とします。特に、開窓術（胸の壁に開口部を設けて感染を治療する手術）や気管支鏡を用いた治療についても調べます。

方法：カルテからの情報収集をもとに実施する後方視的な観察研究

■ 対象となる患者さん

2012年1月1日から2025年12月31日までに、当院で肺切除術を受け、その後に気管・気管支瘻と診断された患者さんを対象とします。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：使用しません。

情報：年齢、性別、既往歴、肺の手術内容、瘻孔の発生部位と診断時期、CT・気管支鏡所見、肺炎や膿胸などの合併症、ドレナージ・内視鏡治療・開窓術などの治療内容、治癒・再発・入退院・生死などの経過等。研究用データでは氏名や患者IDなどの直接個人を特定できる情報を削除し、符号を付けて管理します。

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人　聖隷福祉事業団　総合病院　聖隷三方原病院

担当者：小濱 拓也（呼吸器外科）

電話 053-436-1251　 FAX 053-438-2971